

2010年9月29日

各 位

旭化成クラレメディカル株式会社

新アフレスシス工場竣工について

旭化成クラレメディカル株式会社（本社：東京都千代田区 社長：吉田 安幸）では、グローバル成長が見込めるアフレスシス（血液浄化）治療用製品の生産体制強化を図るために、大分県大分市の工場内に分散している生産設備を集約・近代化した新アフレスシス工場の建設工事を行ってまいりましたが、この度竣工し、設備移設完了製品の生産を開始しますのでお知らせします。また、他製品に関しましても設備移設完了後、順次生産を開始します。

当社は、世界のトップメーカーとして信頼される品質と供給責任を果たすとともに、アフレスシス治療分野のパイオニアとして、従来の治療法では困難とされる免疫疾患や難病治療に新たな可能性を追求し、この度の工場新設を契機に、アフレスシス事業のグローバル成長を加速していきます。

1. 新アフレスシス工場建設計画の概要

- (1)場 所 大分県大分市 （旭化成クラレメディカル大分工場所有地内）
- (2)生産品目 血液浄化関連製品（中空糸膜血漿分離器「プラズマフロー™」、持続緩徐式血液濾過器「エクセルフロー™」、白血球細胞除去用浄化器「セルソーバ™」等）
- (3)投資額 約 19 億円
- (4)工 期 2009年9月17日着工、2010年9月29日竣工

2. アフレスシス工場新設の目的

当社は、透析事業に続く医療事業の柱として、国内外でのアフレスシス事業の拡大を目指しています。この度の新アフレスシス工場は、既存設備を集約するとともに生産プロセスを革新し、製品競争力のさらなる強化を図ることを目的としています。併せて、今後新たに事業化する新規製品の生産拠点としても有効活用することを予定しています。

3. アフレスシス事業展開

アフレスシス治療は、自己血液を体外に導き、血液中の病因物質等を除去（分離、吸着）した後に体内に戻す治療法で、医薬品治療のみでは十分な効果が得られない関節リウマチ、天疱瘡等の自己免疫疾患、潰瘍性大腸炎、慢性C型ウイルス肝炎のウイルス減量等、幅広い応用範囲があり、各々に適したアフレスシス用製品と安全な使用方法が提供されています。特に、有効な治療薬がないか、あるいは副作用等の影響で薬剤治療が困難とされる難病治療分野や予防医療分野で、今後も大きな貢献が期待されています。

当社は、世界最先端の「膜分離」「吸着分離」の技術プラットフォームを活かし、この治療で使用する中空糸膜血漿分離器「プラズマフロー™」や血漿成分吸着器「イムソーバ™」等を製造している世界 No.1 メーカーです。また、優れた医療機器製品の開発から装置操作、治療手技の向上まで医療現場ニーズに適合した高度な血液浄化治療システムの開発に国内、海外で積極的に取り組んでいます。



新アフェレシス工場（大分市）

以 上